

【 シンポジウム 】

気候変動の 身近な影響と適応策を 考える

～IPCC第38回総会に向けてin松山～



基調講演

上智大学地球環境学研究科 教授
慶應義塾大学 特任教授

あん・まくどなるど

九州大学大学院工学研究院
特命教授・名誉教授

小松 利光

〈敬称略〉

パネルディスカッション

身近で考え行動する気候変動問題

〈コーディネーター〉

愛媛大学大学院理工学研究科 教授

森脇 亮

〈敬称略〉

- 日時： 12月22日 日 12:30-14:30 (12:00開場)
- 会場： 松山市総合コミュニティセンター 3階大会議室
(愛媛県松山市湊町七丁目5番地)
- 定員： 100名[参加費無料] (要事前申込み)
- 主催： 環境省
- 共催： 松山市



『環境省主催 松山市共催 シンポジウム』

気候変動の身近な影響と適応策を考える

～IPCC第38回総会に向けて in 松山～

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は、9月に第1作業部会報告書（自然科学的根拠）を公表しました。また、来年3月に日本で初めて横浜で開催されるIPCC第38回総会では、第2作業部会報告書（影響・適応・脆弱性）を取りまとめることとなっています※

気候変動による影響と適応についての最新の知見をわかりやすくお伝えし、気候変動による身近な影響と適応策を考えるシンポジウムを開催します。

※ 各国政府による地球温暖化防止政策に科学的基礎を与えるIPCCは、数年おきに評価報告書を発行（第4次評価報告書は2007年に承認）、その作成は3つの作業部会に分かれて行われています。

基調講演

あん・まくどなるど

上智大学地球環境学研究所 教授
慶應義塾大学 特任教授

小松 利光

九州大学大学院工学研究院 特命教授・名誉教授

〈敬称略〉



あん・まくどなるど



小松 利光



森脇 亮



石榑 亜紀子



杉浦 俊彦

パネル・ディスカッション

コーディネーター：森脇 亮

愛媛大学大学院理工学研究科 教授

パネリスト： あん・まくどなるど

小松 利光

石榑 亜紀子 NHK松山放送局 気象予報士

杉浦 俊彦 農研機構 果樹研究所 上席研究員

司会：山口 容子（フリーアナウンサー）

〈敬称略〉

- 日時： 12月22日 日 12:30-14:30（12:00開場）
- 会場： 松山市総合コミュニティセンター
3階 大会議室
- 定員： 100名 [参加費無料]（要事前申込み）

締切 12月17日 申込者多数の場合は抽選となります

- お問い合わせ先： 松山市環境事業推進課 089-948-6960
(TEL) シンポジウム運営事務局 03-5825-9735

- シンポジウムへのご参加にはE-mailまたはFAXでの事前申込みが必要になります。
- E-mailでお申込みの際には、表題に「松山シンポジウム参加申込みについて」と明記し、[1] 氏名（ふりがな） [2] 所属（必須ではありません） [3] 住所 [4] 電話番号 [5] E-mailアドレスまたはFAX番号をご記載の上、お申込み下さい。
- FAXよりお申込みの場合は、下記フォームをご利用下さい。



松山市総合コミュニティセンター
愛媛県松山市湊町七丁目5番地

松山市駅から徒歩10分
JR松山駅から徒歩10分
伊予鉄大手町から徒歩7分

参加お申込み

シンポジウム運営事務局（一般財団法人地球・人間環境フォーラム 担当：瀬戸、天野）

E-mail : climate@gef.or.jp / FAX : 03-5825-9737

お名前		ふりがな	
ご所属			
ご住所			
TEL		FAX	
E-mail			